

東京学芸大学書道科同窓会

硯心会だより 第4号

発行
2019年10月1日

第38回硯心会書展の報告

硯心会書展部 河合洋輔（57期）

今年の硯心会書展は令和元年7月18日から21日まで銀座洋協ホールにて開催されました。

毎年、硯心会書展は同時期同会場で行なわれております。今夏は会期中晴天に恵まれ、連日暑い中での開催となりましたが、多くの会員の皆様、関係者の皆様にご来場ご高覧いただきましたことに厚く御礼申し上げます。

今回展は第二期（昭和二十六年入学）から第六十七期（平成二十八年入学）まで、101名の会員の皆様から、世代や流派を超え多種多様な書作品をご出品いただきました。また、今回展は幅広い世代で出品者数が増え、久しぶりに100名を超えましたことを嬉しく思います。展覧

会最終日に行なわれた総会や懇親会にも多数のご出席を賜り、感謝申し上げます。

また、今回、初めての試みとして学部生に同窓会、同窓会展への関心を持つてもらうと会期中に学部生を会場に招き、展覧会を観覧してもらうとともに長野会長、加藤理事長との懇談の場を設けました。六十有余年も続く本同窓会は東京学芸大学書道科卒業生の母校を愛する気持ちがあればこそ今日に至っているものと思えます。このような交流の場を共有することが今後の硯心会のさらなる発展に繋がること期待しています。

特別展示は、新たな試みとして卒業15年の節目の年を迎える第53期（平

成13年入学）の有志展を行ないました。硯心会会則の第4条に基づき、会員相互の親睦をはかり、若い期の交流を深めるため、同期展の作品発表の場を提供することを目的として開催する運びとなりました。出品者は6名で各々1点から3点の出品で計11点の展示となりました。展示は多種多様な作品が並び、学芸大学にゆかりのある高塚竹堂のいろは歌の双鉤填墨の作品も展示され、本展にも花を添えてくれました。

会期中には第53期で同窓会を行なうなど旧交を温めたそうです。こうした展示が各期、会員間の交流を深める一つの契機となることを願っております。

今後、会員の皆様と共に魅力ある展覧会を目指し、硯心会書展を盛り上げていけるよう、役員一同一丸となり活動してまいる所存です。何卒、ご支援ご協力のほどお願い申し上げます。



会場の様子①



会場の様子②

埼玉硯心会の活動報告

埼玉硯心会事務局 杉山惠美 (25期)

8月4日(日)～7日(水)の日程で埼玉会館第三展示室において第42回埼玉硯心会書作展が開催されました。今年も、8期から64期まで37名の出品者が82点の作品を展覧しました。今年は梅雨明け直後の酷暑の中でしたが、出品者の関係者を中心に、500名余のご観覧を頂き、盛会の裡に無事終了しました。暑さの中ご来場下さいました皆様有り難うございました。

広い展示室に様々な力作が並ぶ中、老若男女の会員が互いに批評し合ったり、各自の書道への熱い思いを語り合ったりと、事前の数回の研究会・会期中を通じて会員相互の交流ができました。

なお、埼玉硯心会の発足から顧問としてご指導、賛助出品を賜りました吉田鷹村先生が展覧会後ご逝去されましたこと、寂しい限りです。長い間のご支援に感謝いたします。

今秋には書道博物館など、台東区周辺での研修会が予定されています。有意義な一日になることでしょう。



53期有志展の様子①



53期有志展の様子②

来年度は、8月1日(土)～4日(火)埼玉会館第三展示室で開催予定です。ご高覧よろしくお願ひ致します。



千葉硯心会書展のご報告

千葉硯心会事務局 石井昭正 (31期)

千葉硯心会書展は、原則、千葉県在住・在勤の東京学芸大学書道科出身者を会員とし、現在の会員数は130名ほど。年に一度の展覧会には三分の一程度の会員が毎年出品していますが、転居・高齢化などにより、出品数が減少傾向にあります。若い力に期待したいところです。

令和元年度は7月30日～8月4日、第48回展として、千葉県立美術館で開催されました。出品点数は、昨年度より1点増え、34点となりました。

出品者は、世話人・代表鈴木一敬・石井天游・青木鶴水・勝尾教弘・鈴木光鶴・鈴木真未をはじめ、阿部延子・飯森金鷲・石井雪花・宇野玉邨・大隅晃弘・大高紫葩・小川青華・角地麗空・神山千代・小泉興起・甲州むつみ・鹿野清洞・須田凌丘・高井葉風・高橋敏行・竹之内鏡僊・田中松狸・塚本虚齋・辻元大雲・時田大祥・福島林邨・町田佳奈子・目良丹崖・森舞扇・安塚旭洞・湯浅宗中・四十栄明菜・渡辺柱雲。

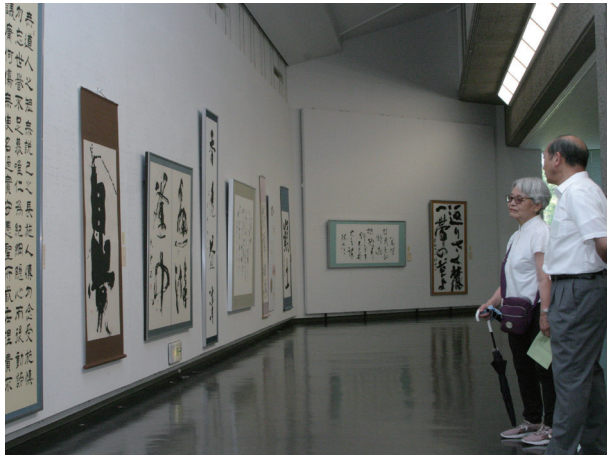
昨年は台風の接近に伴い来場者数は五百人ほどでしたが、酷暑が続く

中、今年は例年並の1000人近い来場者がありました。

大作や小品、一字書から多字数書、漢字・仮名・漢字仮名交じり書、書体や書風も様々で、バラエティーに富んだ個性溢れる作品が集まりました。

小学生からご年輩の方々まで、熱心に鑑賞してくださるお客様の姿が印象的でした。

来年度も、同時期に開催予定です。世話人にも若い世代が加わり心機一転。ご高覧・ご批評賜れば幸甚でございます。よろしくお願い申し上げます。



令和元年度夏期 硯心会理事会・総会報告

去る令和元年7月21日(日)17時から、銀座洋協ホールにて、理事会が開催されました。詳細は各期理事宛に議事録を本部事務局より送付いたします。ここでは、簡単に報告いたします。

◆第38回硯心会書展

出品者数 101名(前回85名)
総来場者数 547名

硯心会書展ホームページより、出品要項の閲覧、出品票のダウンロードが可能になった。

◆第43回学芸書道全国展

会期 令和元年8月23日(金)
〜24日(土)10時〜18時、24日(土)16時まで
会場 東京学芸大学芸術館

◆2020年度の事業について

2020年度は、東京オリンピック・パラリンピック開催を受け、2020年記念展を開催する。

◇第39回硯心会書展

会期 2020年8月19日(水)
〜22日(土)10時〜18時
19日(水)は13時から、22日(土)は16時まで

場所 銀座洋協ホール
作品締め切り 7月1日

搬入 8月19日10時〜

搬出 8月22日16時〜

理事会 8月22日16時30分〜

総会 8月22日17時〜

学芸書展準備作業

8月22日16時30分〜18時

懇親会 8月22日(土)18時〜

特別展示 依頼中

◇第44回学芸書道全国展

会期 2020年8月23日(日)
〜24日(月)

展示作業 8月23日9時〜12時

表彰式 8月23日14時〜

撤去・整理・返却 8月25日

表彰式 検討中

令和元年度 第43回学芸書道全国展開催

硯心会と東京学芸大学書道分野の共催により、7月28日(日)に東京学芸大学書道実習室をお借りして審査がおこなわれ、8月23日(金)、24日(土)の両日、東京学芸大学芸術館にて展示されました。8月24日(土)には、東京学芸大学・中島裕昭副学長のご臨席を得て、表彰式が盛大におこなわれました。

第43回の出品団体は108団体(10団体増)、総出品点数は8334点(473点増)となり、全国より、日頃の学習の成果を発揮した優秀な作品が出品されました。

最優秀団体賞が2校、優秀団体賞が15校、団体賞が12校に授与され、東京学芸大学学長賞10点、硯心会会長賞11点、東京新聞賞3点、全日本書道書道教育研究会賞17点、東京都小学校書写研究会賞3点が選定されました。さらに、硯心会理事長賞101点、硯心会奨励賞216点の他、特選、秀作、佳作、入選が決定されました。

個人賞の最高賞である東京学芸大学学長賞の受賞者は次の通り。

- 小6 鎌倉芽生(西書道塾)
- 中2 熊谷香織(桐朋女子中・高等学校)
- 中2 小林真妃奈(滝野書道教室)
- 中3 山口 彩(勝田書道塾)
- 高1 山崎真奈
(横浜市立金沢高等学校)
- 高2 小高英季
(埼玉県立伊奈学園総合高等学校)
- 高2 高濱莉音(如恵会)
- 高3 菊池海里(大分高等学校)
- 高3 笹熊勇我(川崎市立高津高等学校)
- 高3 田村理莉(大成高等学校)

会場の様子



表彰式の様子



「日中韓書教育交流展」教育・研究・文化」報告

本年度は、硯心会をはじめ、駐日本国中華人民共和国大使館文化部、駐日本国大韓民国大使館文化院、全日本華人書法家協会、高麗書芸研究会、山口文林堂のご後援により、「東アジア書教育コンソーシアム第1回日中韓書教育交流展——教育・研究・文化——」および「日中韓書教育国際会議——日中韓の書教育と教科書」が日本で開催されました。本年度、中国からは北京師範大学、韓国からはソウル教育大学の教員、卒業生を中心とした出品者および来日者によって、作品による交流の他、歓迎パーティ、開幕式、筆会、合同での美術館参観等、人と人との交流もはかり、さらに学術交流もおこないました。今回の東アジア書教育コンソーシアムは、2021年度に、中国北京で12月に開催予定です。(来年度は従来の三国展の枠組みで日本で開催予定) 今年の開催の詳細は次の通り。会期 2019年8月19日(月)～21日(水) 10時～18時(19日は13時より、21日は17時まで)、会場 THEATRE1010

開幕式の後、参加者での記念写真 (右)



会員展覧会の「案内

硯心会会員による個展・同期展の情報を紹介いたします。

祝文を紡ぐ

MICHIKO HAMASAKI EXHIBITION

2019年11月1日(金)～13日(水) 11時～19時(最終日17時30分)

ROPONGI STRIPES SPACE (六本木5-10-33ストライプハウスビル)

六本木駅3番出口より徒歩4分

※13期濱崎道子による個展。

尾花也生書展

第4回最後の100点個典・筆と陶刻の変遷

2019年11月29日(金)～12月3日(火) 10時～18時(最終日17時まで)

栃木県総合文化センター2階(宇都宮市本町1-8) JR宇都宮駅西口駅前バス県庁前下車(徒歩約5分)、東武宇都宮駅下車徒歩約10分。

※9期の尾花也生による個展。

発行 ◎硯心会本部 ☎184-8501

編集 東京都小金井市貫井北町4-1-1

東京学芸大学 加藤泰弘研究室

◎硯心会事務局 ☎124-0011

四つ木4-4-12 草津祐介

✉ usk932@hotmail.co.jp

硯心会HP <http://kenshinkai.grupo.jp>